

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 瀬戸内さんさんの家

グループの名称 瀬戸内陽だまりの会

直近採択グループ番号 06-0183-0650

(グループ代表者)

代表者名 武田 慎一 代表者印
代表者所属先 株式会社プラスアイ
代表者所在地 山口県熊毛郡平生町平生町20-84
代表者電話番号 0820-25-3980

(グループ事務局)

事務局事業者名 ヤマエ久野株式会社
事務局担当者名 堀渕 紀昭 印
事務局郵便番号 741-0061
事務局所在地 山口県岩国市錦見6-13-34
事務局電話番号 0827-43-1234
事務局FAX 0827-43-3585
事務局担当者E-mail t.hoributi@yamaehisano.co.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	瀬戸内さんさんの家
2. グループの名称(必須)	瀬戸内陽だまりの会
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0183-0650
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	山口県東部、広島県東部、その他近隣市町村
5. 結成年(必須)	2014 年
6. グループ代表者名(必須)	武田 慎一
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社プラスアイ
8. グループ代表者所在地(必須)	山口県熊毛郡平生町平生町20-84
9. グループ代表者電話番号(必須)	0820-25-3980
10. グループ事務局事業者名(必須)	ヤマエ久野株式会社
11. グループ事務局担当者名(必須)	堀淵 紀昭
12. グループ事務局郵便番号(必須)	741-0061
13. グループ事務局所在地(必須)	山口県岩国市錦見6-13-34
14. グループ事務局電話番号(必須)	0827-43-1234
15. グループ事務局FAX番号(必須)	0827-43-3585
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	thoributi@yamaehisano.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	7	国有林や海外から原木調達を行う場合は原木の出荷証明書取得は無い(海外事業者の認定書取得も無い)
II. 製材・集成材製造・合板製造	9	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	5	
IV. プレカット	4	
V. 設計	3	
VI. 施工	7	
VII. 木材を扱わない流通	2	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明		国産材		3	国内
		外材		3	国外
		国産材		2	国内
		外材		2	国外
		国産材		2	国内
		国産材		2	国内
		外材		2	国外
		国産材		2	国内
		国産材		4	国内
		外材		4	国外
	広島県産材	広島県	広島県産材産地証明制度	1	国内
	認証かごしま材	鹿児島県	認証かごしま材認証制度	1	国内

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		10	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		6	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	6	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		4	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		4	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸	
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸	
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸	
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		4	戸	
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸	
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸	
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸	
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		6	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	6	戸		
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		3	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		4	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸		
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		2	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟	
					0	m ²	
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟	
					0	m ²	
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)							
1. 申請確定の事業者には申請の戸数を配分。 2. 対象戸数により上記の戸数を減じた戸数の内、未経験事業者の予定を優先。 3. 残戸数については、グループ内協議の上、申請時期を優先。							
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	採択戸数	7	戸	交付申請戸数	4	戸	
	完了実績(竣工予定含む)戸数	4					戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	採択戸数	4	戸	交付申請戸数	0	戸	
	完了実績(竣工予定含む)戸数	0					戸
高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)							
採択戸数	3	戸	交付申請戸数	1	戸		
完了実績(竣工予定含む)戸数	1					戸	
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)							
採択戸数	6	戸	交付申請戸数	4	戸		
完了実績(竣工予定含む)戸数	4					戸	
優良建築物型							
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟		
完了実績(竣工予定含む)棟数	0					戸	
採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²		
完了実績(竣工予定含む)床面積	0					m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 瀬戸内さんさんの家	(地域型住宅供給対象地域) 山口県東部、広島県東部、その他近隣市町村
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 瀬戸内陽だまりの会	(結成年) 2014 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0183-0650	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】	◎、○ 記入欄	
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・瀬戸内特有の温暖な気候を最大限利用した、日射・通風に配慮した設計を提案する。 ・各地域で高齢化が進む現状に鑑み、高齢者に配慮したバリアフリー住宅の推奨に努める。 ・地域文化を尊重し、軸組工法、枠組工法(2×4)に拘らず、各事業者が培った技術を重用しつつ、ゼロエネに繋がる先進的な手法を織り込んだ住宅の普及を図る。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・地震、台風、豪雨災害に備え、建築地の事前調査の他、住まい手の安全に配慮した住宅の提供に努める。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・海辺では漁師町の低い屋根の仕様、山間地では時折の深い雪への対策、自然の風景をダイナミックに取り込む開放的な窓辺の設計等、地域の特性を活かして自然との調和を最大限活用し、地域の景観美を深耕させた街並み作りを考慮したデザインとする。	◎
④①～③の背景	・瀬戸内地域は、中国山地を背景に豊かな海に面し、周辺には大小の島々が点在する山海の幸に恵まれた温暖な地域である。 ・随所に古戦場、城跡、寺社仏閣の他、古い町並みが点在する。又、中国地方の大動脈たる国道2号線沿いには、企業城下町があり、歴史・文化・経済が渾然一体となり住んでよし、訪ねて良しの地域と言える。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・前年度の当グループに不参加の事業者を加え、軸組工法及び枠組工法(2×4)の二面からの取組みを可能にし、未経験事業者への事務局、流通各社からの最大限の支援を活用する。	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】	◎、○ 記入欄	
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ・土台、柱、梁桁には105角以上を使用。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ・広島県産材産地証明制度、又は認証かごしま材認証制度の認証制度を得た部材等の採用を推奨。 ・合法木材を含めて構造材全量の60%以上で使用する。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ・羽柄材、建材については、構成員協議の上で標準仕様書を作成し、定める。	◎
②-1 建材・資材調達のコスト削減	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ・事務局を中心に、共同化や合理化に向けた会合を開催し、給湯器や断熱材メーカーの採用統一によるコスト削減や一次エネルギー消費量等のデータ蓄積に努める。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ・事務局を中心に、共同化や合理化に向けた会合を開催し、給湯器や断熱材メーカーの採用統一によるコスト削減や一次エネルギー消費量等のデータ蓄積に努める。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ・本グループを主導する立場となるヤマエ久野、三島建材による合理化委員会の設置。3ヶ月に1回程度、必要時に会合開催により合理化の深耕を図る。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・資材調達については、可能な限りの共通化を図り、コストダウンに繋げる。 ・未経験事業者への支援として、情報提供や施工研修会等への参加を促す。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・「住宅の省エネルギー技術に関する講習会」における施工内容を、グループの施工標準とする。又、施工基準についての説明会を随時開催し、未経験事業者の施工基準の定着を目指す。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・施工事業者による、共通ルール(住宅の仕様)に係る現場検査(計2回)の実施。その際はグループで合意・作成したチェックシートを使用する。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・見積書には、メーカー・品番・認証元等の表示。共通して使用する商品に関してはパンフレットや標準仕様書作成し、住まい手への説明を行う。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・現場見学会の随時開催。使用材の認証制度、本事業への参加趣旨を説明する。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 変形労働時間制の導入推奨。特に繁忙期の休日出勤に対しては振休取得を習慣化させる。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 熟練者に対しては定年後の再雇用契約推奨。若手に対しては技術職・営業職の区別のない給与体系の改善をグループ構成員各社へ促す。	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ構成員各社の判断に委ねる。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ構成員各社での、安全衛生管理委員会の実施、現場搬入管理マニュアルの作成、定期検診の励行。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 瀬戸内さんさんの家	(地域型住宅供給対象地域) 山口県東部、広島県東部、その他近隣市町村
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 瀬戸内陽だまりの会	(結成年) 2014 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0183-0650	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・住宅履歴情報に蓄積する情報・資料として、図面一式・認定申請関連書類一式(認定住宅の場合)、省エネ計算書一式・住宅版BELS認証(認証を取得する場合)等を共通の項目とする。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・リビングベルの活用。又は住宅履歴管理システム「えいかるて」にて管理。	○
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・事務局への報告必須化を図る。	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・グループとしてのチェック事項確認書や完了報告書の統一化を図る。	◎
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・事務局へのメンテナンス完了報告の必須化を図る。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・事務局へのメンテナンス完了報告の必須化を図る。	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・現場見学会開催時に、メンテナンス講習・ローン相談会等の開催。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・現場見学会に合わせ、木工教室等の開催。	○
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・現場見学会開催時に、メンテナンス講習・リフォーム相談会・ローン相談会等の開催。	◎
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・事務局主導により、維持管理委員会の設置。定期会合時に実績報告。	○	
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・定期会合時にメーカーによるメンテナンス講習実施。	○		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・事務局としては、バックアップビルダーの斡旋。住宅あんしん保証等への加入を促す。	○	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・定期会合時に勉強会実施。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		・リフォームの質の向上を目指した研修会等の実施。	◎	

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・事務局主導による講習会(申請・設計・施工等)を実施。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・工程毎の写真等でのデータ管理。	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・完了時の事務局への提出。	○
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・2020年に向けて施工事業者が容易に取組めるレベルとなる事を目標に、サポート体制の強化	◎
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・本事業終了後も、設計や申請時の助言を通じ、未経験事業者の積極的な取り組みを促す。	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・業種毎に取組むべき課題の精査。技術力、施工性の向上に不断に取組む。	◎
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 9 今年度の参加目標人数 1
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数		昨年度までの終了者数 0 今年度の参加目標人数 5	◎
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組		<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局より講習会日程の案内。積極的な参加を促す。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・メーカーからの新素材情報提供の促進。他グループとの情報交換。	◎
	② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・メーカーからの新素材情報提供の促進。他グループとの情報交換。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		特になし	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 瀬戸内さんさんの家	(地域型住宅供給対象地域) 山口県東部、広島県東部、その他近隣市町村																								
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 瀬戸内陽だまりの会	(結成年) 2014 年																								
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0183-0650																									
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。																										
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与																										
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄																								
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	<ul style="list-style-type: none"> ・軸組工法については、主要構造材は、各県認証制度を得た部材、又は、合法木材を使用する。その他構造材や羽柄材は、認証材、又は合法木材での対応とする。 ・枠組壁工法(2×4)については、合法木材、又は民間の第三者の認証を受けた部材を使用する。 	◎																							
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎																							
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">主要構造材</td> <td>土台:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>柱:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等:</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等:</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等:</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している	柱:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している	◎
主要構造材	土台:	<input type="checkbox"/> 使用していない		<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																						
	柱:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																							
	梁・桁等の横架材等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																							
羽柄材	間柱、根太、垂木等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している																							
造作材	枠材、廻縁等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している																							
板材	壁板、床板等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している																							
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	<ul style="list-style-type: none"> ・原木供給業者 → 製材業者 → プレカット業者(又は流通業者) → プレカット業者 → 工務店又は各現場へ納品。 ・流通に関しては、グループ構成員であるとする。 																								
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局より、原木供給業者・製材業者・プレカット業者の情報入手後、施工事業者への報告。	◎																							
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・需要動向、相場動向の情報開示。	◎																							
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・事務局によるヒアリングを基に、製材業者・プレカット業者への情報提供。	◎																							
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・今年度の使用目標数量(1畳換算) 50枚	◎																							
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・今年度の使用目標数量 300枚	◎																							
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・今年度の使用目標数量(3×6換算) 30枚	○																							
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・今年度の使用目標数量(3×6換算) 30枚	○																							
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・壁紙(和紙やコットン)、塗り壁の使用。	○																							
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・塗り壁、天窓の設置等、景観美の即した素材の活用。	○																							
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・地域の景観美に見合った住宅(住宅のみならず景勝地や風景)の案内。	○																							
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・可変性のある間取り、再利用可能な素材の使用。	○																							
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・地域の文化・歴史を尊重し、自然とも調和した外観デザインの設計に努める。	◎																							
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・縁側の設置、植栽、造園の工夫等、地域特有の自然と一体感の形成に努める。	○																							
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	特になし。																								
カ. その他																										
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄																								
	東日本大震災の復興に資する取組	特になし。																								
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	特になし。																								

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

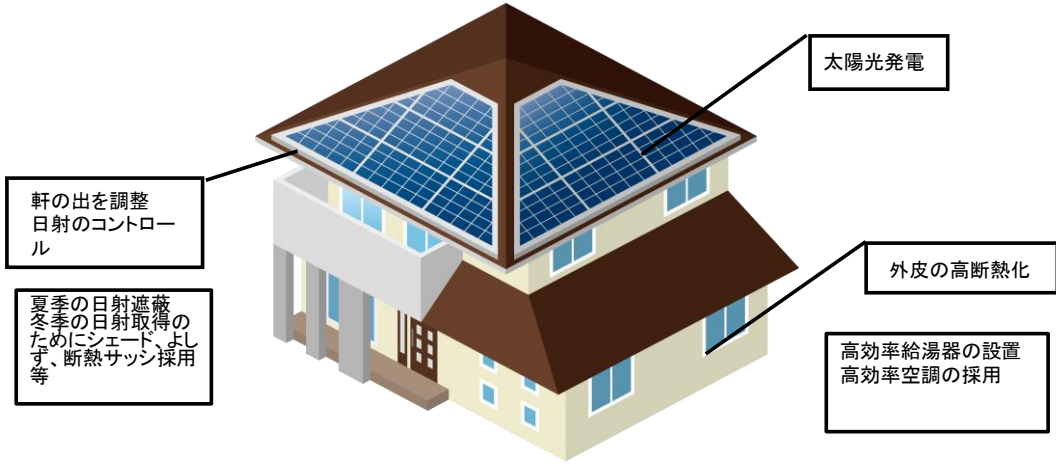
1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 瀬戸内さんさんの家	(地域型住宅供給対象地域) 山口県東部、広島県東部、その他近隣市町村
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 瀬戸内陽だまりの会	(結成年) 2014 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0183-0650	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

- ①認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅
- ②ゼロ・エネルギー住宅
- ③優良建築物型 該当案件、予定施工業者なし

* ①、②のイメージ図



- ①について
 - ・省エネ法の省エネ基準に比べ、一次エネルギー消費量が△15%以上を目標とする。(要件は△10%以上)
 - ・断熱等性能等級4のクリアー。
- ②について
 - ・省エネ法の省エネ基準に比べ、一次エネルギー消費量が△30%以上を目標とする。(要件は△20%以上)
 - ・断熱性能については、特に外皮性能(UA値)0.60W/(㎡K)を目標とする。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。